２０１９年度　仲尾台中学校区９年間で育てる子ども像　「自律と自立ができる子」

重点的に育成したい資質・能力　言語能力（聴く・語る）　各教科で目指す子ども像（成長目標）

		国語	社会	数学	理科	音楽	図工・美術	保健体育	技術	家庭	外国語
小学校	低学年（１～２年生）	自己紹介、挨拶、問答を通してうなずいたりつぶやいたりしながら人の話を最後まで聴くことができる。相手のほうを向いて言いたいことを区切って、相手に聞こえるちょうどよい声の大きさで話すことができる。		数や式，図や簡単な表やグラフなど数学的に表現したことについて，他者の話を静かに聴くことができる．また，これらの数学的表現を用いて表現したことを自分の言葉で説明することができる．		図で表されている楽譜や身体表現を通して、体験的に音楽要素を理解できる。	友達の活動を見たり、つぶやきを聞いたりして、自分の見方や感じ方を広げることができる。活動したいことや表現したものの面白さや楽しさを伝えることができる。	遊びを広げるために、友達の良い動きを見つけたり、真似したりしたことを発表することができる。			身近な英語の表現や音声を聞いて、英語を使ったコミュニケーションに慣れ親しむ。
	中学年（３～５年生前半）	出来事の説明や学級会を通して、自分の考えを比べながら、相手の言いたいことをわかろうとして聴くことができる。聞き手の反応を見ながら相手に伝わっているかを確認しながら話すことができる。	資料をもとに、根拠をもって自分の考えを述べることができる。聞き手の反応を見ながら、相手に伝わっているかを確認しながら話すことができる。	数や式，図や表やグラフなど数学的に表現したことについて，他者の説明を聴いて理解することができる．また，これらの数学的表現を用いて表現したことを論理的に説明することができる．	実験結果から何が言えるのか、文章にしたり、話したりして表現することができる。実験結果から考えたことを、図を使って表現することができる。予想を確かめるための方法を考えて、図や文章で表現することができる。	楽曲を聴いたり、表現したりする中で、自分の考えと相手の考えを比べながら、話し合うことができる。	関わり合う中で、活動したことや表現したもののよさや面白さなどを感じ取り、自分の作品にもいかすことができる。関わり合う中で、活動したことや表現したもののよさを相手に伝えることができる。	課題解決のために、より良い動きをみつけ、友達と伝え合うことができる。			自分の考えや気持ちを簡単な英語を使って伝え合い、相手の内容を推測して聞いたり、質問したり答えたりすることができる。
	高学年（５年生後半～６年生）	紹介や報告、座談会、ポスターセッションを通し、自分の考えをいつ話したらよいのか、自分の出番を考えながら聴くことができる。話し合いの論点に沿って自分の出番を考えて話すことができる。	他の人の意見を参考に、それと関連させて自分の考えを話すことができる。話し合いの論点をとらえながら、自分の意見を述べることができる。	数や式，図や表やグラフなど数学的に表現したことについて，自分の考えと比較・検討しながら他者の説明を聴いて理解することができる．また，これらの数学的表現の中で，より適切な表現方法を用いて表現し，他者と関わりながら論理的に説明することができる．	考察場面では、友達の考えに付け足すなど、合意形成を目指して話し合うことができる。予想場面では、お互いの予想の根拠をよく聞き、相互理解を目指して話し合うことができる。複数のデータから、適切な物を選択して考察し、図や文章を使って表現することができる。複数のデータから、適切な物を選択して考察し、式、グラフと文章を使って表現することができる。	楽曲を聴いたり、表現したりする中で、課題に対して適切な助言をし合い、表現に活かすことができる。	活動の中で、できた課題に対して適切な助言をすることができる。互いに感じ取ったり考えたりしたことを伝え合い、見方や考え方を深めることができる。	運動の特性を理解した、お互いの課題をみつけ指摘し合うことができる。		食生活において、野菜をゆでるなど基礎的なことを踏まえて基本調理に発展させることができる。自分の作りたいものに応じて製作計画を立て、実践を通して他者の意見を聞きながら粘り強く取り組むことができる。	分からない状況であっても、相手とのやりとり等を通じて内容を推測しながら聴き、話や状況の概要をつかむことができる。実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な表現や技能を身につけ、目的、場面、状況等に応じて外国語を使って伝えることができる。
中学校	前半（１～２年生前半）								自分の考えやアイデアを、製作品を通して他人に伝え、驚きや喜びを持って受け止めることができる。		
	後半（２年生後半～３年生）	スピーチ、ディスカッション、プレゼンを通し、自分の立場や考えを明確にして多様な考えを認め、自分の考えを深めたり、広めたりしながら人の話を聴くことができる。相手のことを考えて、場に応じた話し方や言葉遣いができる。	様々な考えや意見を認め、自分の考えを深めたり、相手にわかるように伝えたりすることができる。	多様な数学的表現を用いて表現したことについて，自分の考えを深めたり広げたりしながら他者の説明を聴いて理解することができる．そして，これらを批判的に捉え，妥当性や信頼性を吟味することができる．また，数学的表現を用いて表現したことについて，論理的に説明し，他者の意見を踏まえて統合的・発展的に考察することができる．	多様な考えを認め、結果やデータの分析から自分の考えを深めたり広めたりすることができる。他者が分かるように自分の考えを、グラフ・式・図と文章を選択し組み合わせて表現することができる。	楽曲を聴いたり、表現したりする中で、多様な考えを認め、自分の感じ取った楽曲の良さや、美しさを、他者に伝えることができ、表現を深めることができる。	よさや美しさについて感じ取ったことを自分の言葉で他者に伝えることができる。他者の意見を聴き、多様な考えを認め、作品の表現や感じ方を深めることができる。	運動の特性を理解して、安全に十分に配慮した上で相手の気持ちを理解し必要なアドバイスのやりとりができる。	他者の考え方（多様性）を認め、自分の製作品にフィードバックし、自分の考え方や思いを、わかりやすく他者に伝えあうことができる。	他者の話を聴くことを前提にして、自分の意見を順序立てて述べることができる。	コミュニケーションにおける見方、考え方を働かせて、話し手に配慮しながら聴き、帰途や情報をとらえ、自分の考えを深めることができる。聞き手に配慮しながら、目的、場面、状況等に応じて話す内容や自分の考えに見通しをたてて、外国語を使って伝えることができる。